

サケ稚魚放流情報 No. 3



平成 31 年 4 月 18 日
 岩手県水産技術センター
 漁業資源部
 TEL: 0193-26-7915
 FAX: 0193-26-7920

低水温で推移していた湾内の表面水温は、平年並まで上昇しています。
 動物プランクトン沈殿量は、増加時期に入ったと考えられます。
 過密飼育に注意して管理し、放流サイズに達した稚魚の放流を進めてください。

1 表面水温 (°C)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(4/8、9)	8.1	7.0	7.4	6.6	6.5
平年*	7.7	7.2	7.2	7.4	7.9
前年同期	7.5	7.5	7.3	7.4	8.9

各湾の表面水温は、平年と比較して、越喜来湾と大船渡湾で1°C程度低め、宮古湾、山田湾、唐丹湾で平年並み、前年同期と比較して、越喜来湾と大船渡湾で1～2°C低い他、前年並みとなっており、全体として平年並みまで上昇しています。

2 動物プランクトン沈殿量 (ノルパックネット鉛直 20m 曳き、ml/m³)

	宮古湾	山田湾	唐丹湾	越喜来湾	大船渡湾
観測値(4/8、9)	1.10	3.97	4.24	1.39	1.45
平年*	1.58	0.90	1.41	1.28	1.10
前年同期	2.62	0.76	0.10	0.37	2.81

動物プランクトン沈殿量は、平年と比較して、宮古湾でやや少ない他、各湾とも多くなっており、前年と比較して、宮古湾と大船渡湾で少ない他、各湾ともきわめて多くなっており、全体的に増加時期に入ったと考えられます。

3 山田湾における水温・塩分・動物プランクトン連続モニタリング結果**

- (1) 氷場漁場において、音響機器（プロファイラー）で連続観測を実施しています。
- (2) 平成 31 年 4 月 16 日現在、氷場漁場は水温 7.6°C、塩分 33.66 となっています（図 2）。
- (3) 動物プランクトン密度は、1mm 以下の小型のものを中心として、やや上昇してきました（図 3）。

4 その他

- (1) 北上丸による沿岸海洋観測・動物プランクトン発生状況調査によるものです。
- (2) いわて大漁ナビ (<http://www.suigi.pref.iwate.jp/>) の定地水温情報・衛星画像や、当センター発行の海況情報等も参考にしてください。

*平年は過去 14～16 年間の同期の平均値。

**平成 30 年度まで先端技術展開事業「天然資源への影響を軽減した持続的な漁業・養殖業生産システムの実用化・実証研究委託事業」、平成 31 年度は「さけ・ますふ化放流抜本対策事業」による研究成果（モデル海域：山田湾）

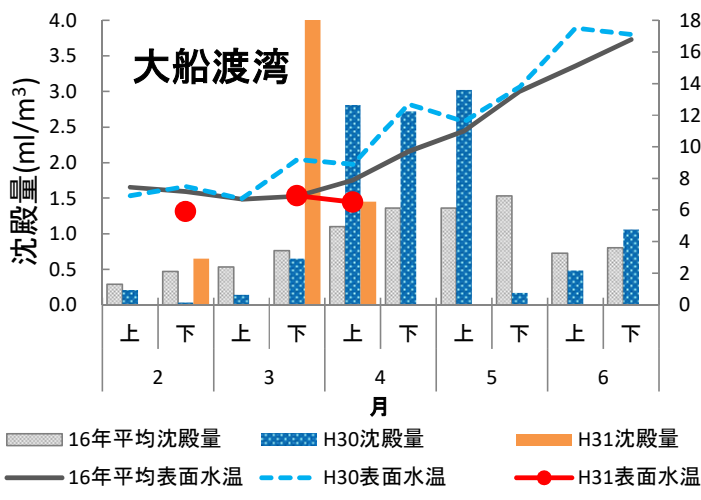
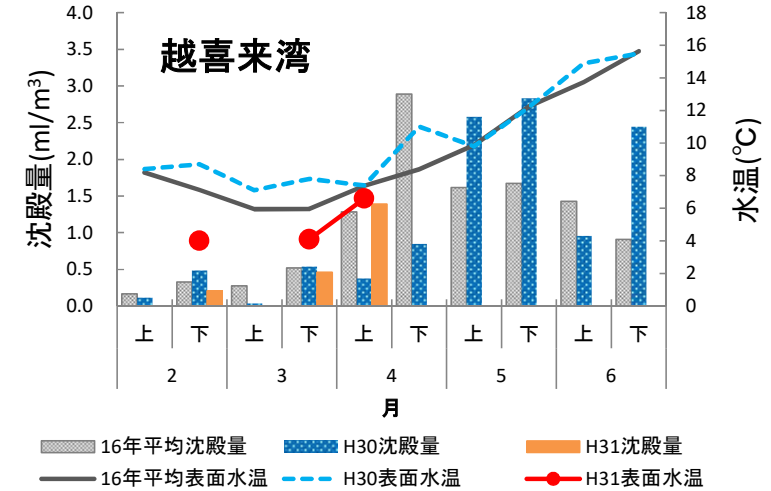
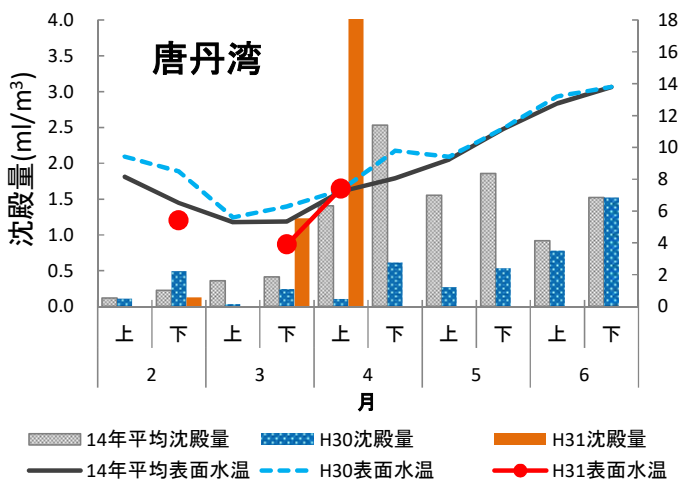
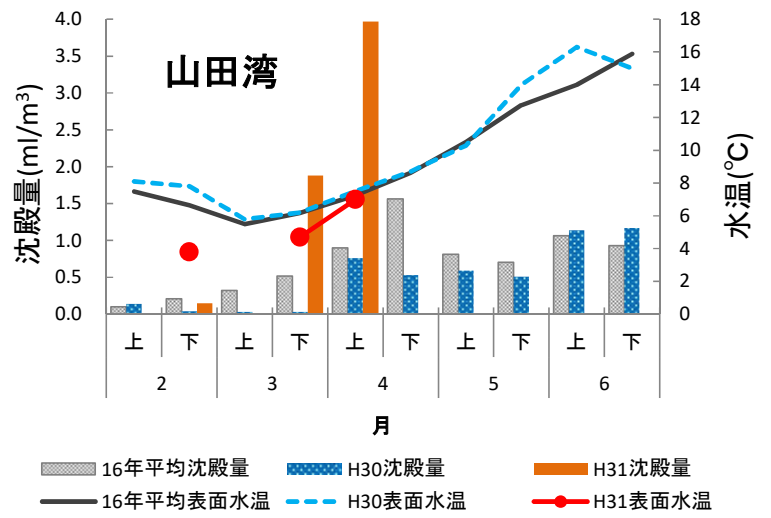
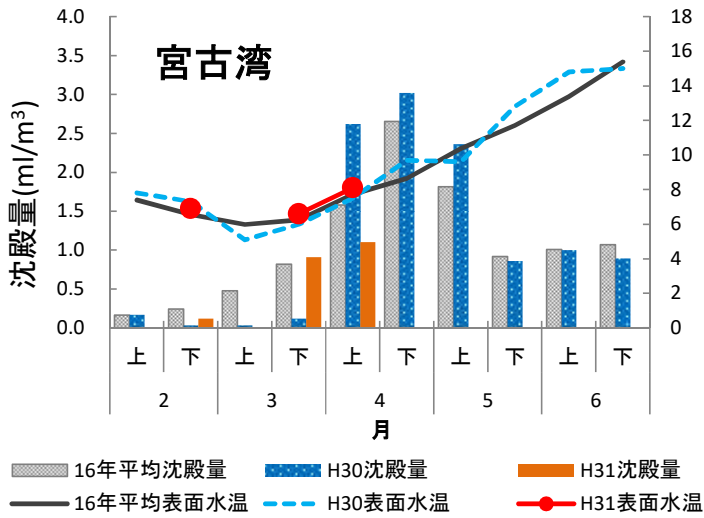


図1 5湾における動物プランクトン沈殿量，表面水温の季節変化

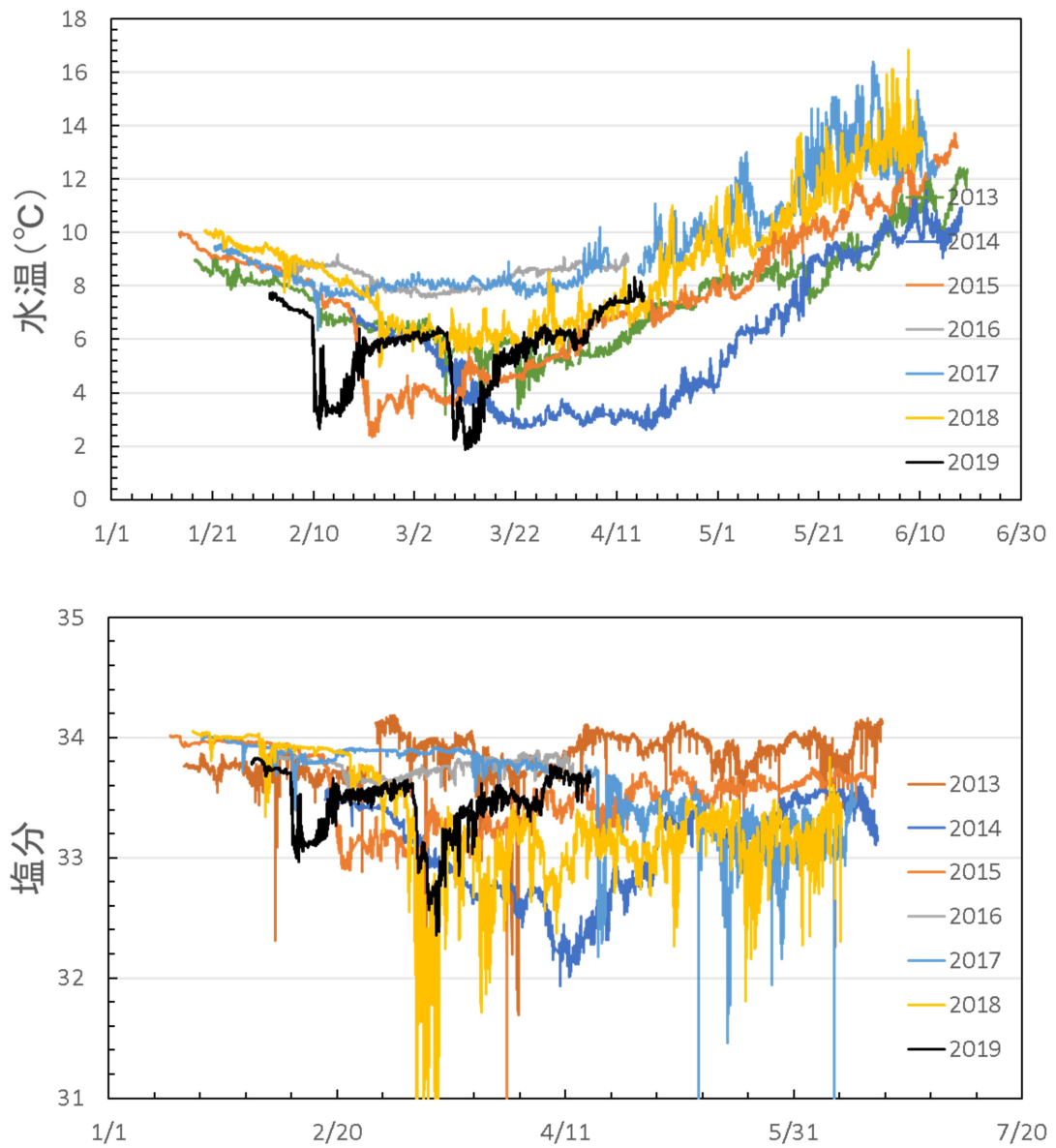


図2 山田湾（氷場漁場、10m深）における水温・塩分の日変化
 （平成31年4月16日現在）

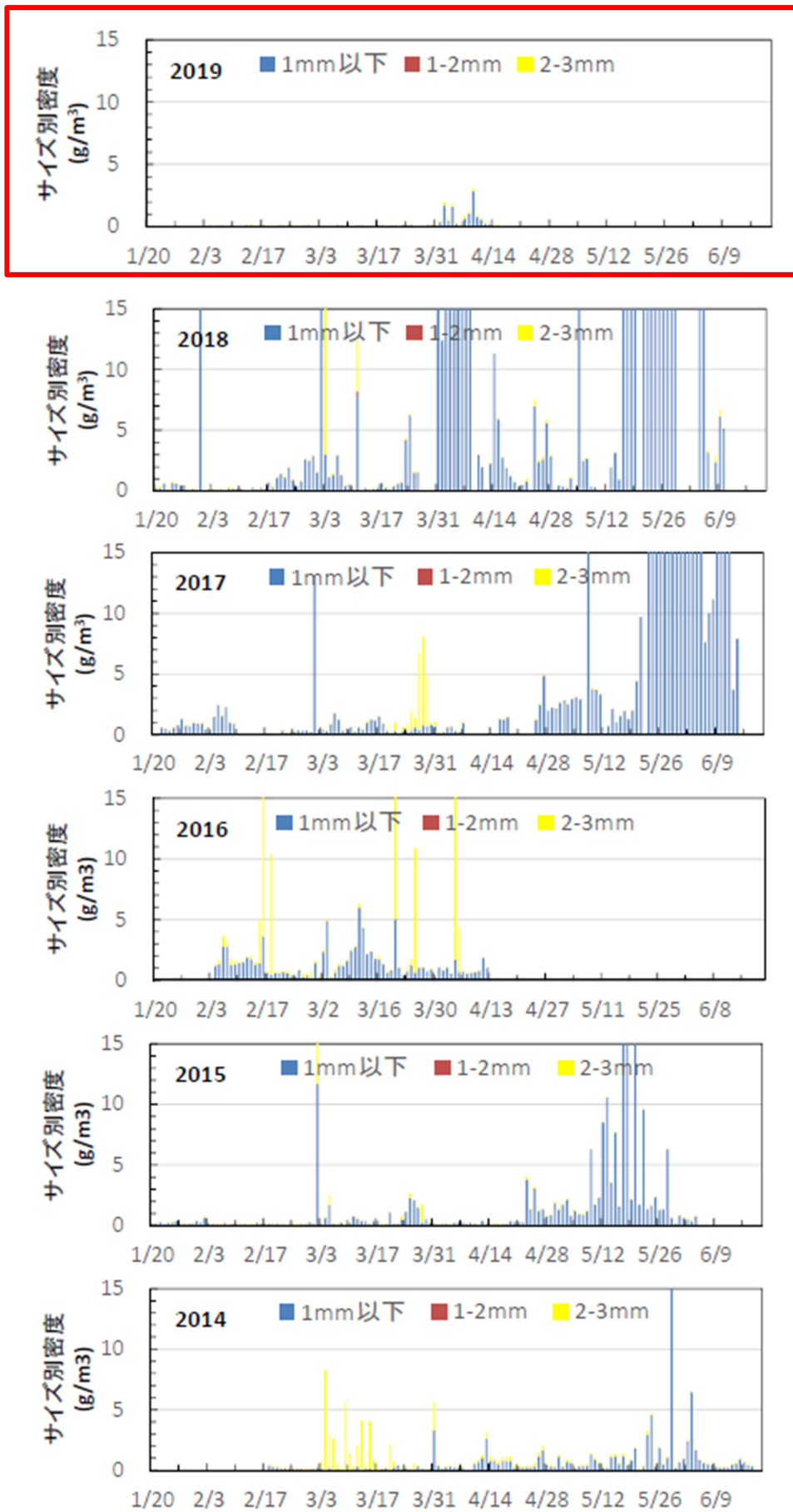


図3 山田湾（氷場漁場、10m深）におけるプランクトン密度の日変化（平成31年4月16日現在）